



学校・家庭・地域が連携した教育活動をより一層推進するため、12月に本校の教育活動に対する「保護者アンケート」を実施しました。また、授業や生活についてのアンケートを生徒や教職員にも実施しました。今回は、集計結果の概要についてお知らせします。

※表中の数値は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒または保護者の割合です。

## 【学校生活について】

	質問項目	R7後期	R7前期	比較
生徒	学校へ行くのは楽しいですか。	97%	97%	±0
	先生方は、自分の努力したことをほめたり、認めたりしてくれていますか。	95%	96%	-1
保護者	お子さまは、学校へ行くのが楽しいと言っていますか。	89%	89%	±0
	学校は生徒を理解するように努め、一人一人に応じたきめ細かな指導に努めていますか。	77%	73%	+4

本校の教育目標は「**知性と創造力に富み 人間性豊かな たくましい生徒の育成**」を掲げ、その重点目標として**“魅力ある学校づくり”**に取り組んでいます。具体的には「夢の実現に向け挑戦する生徒がいる宇ノ気中」「人間性を磨き、学び続ける教師がいる宇ノ気中」「連携・協働して学校を応援する保護者がいる宇ノ気中」「地域に支えられる宇ノ気中」を掲げています。

数値を見る限りでは、前期と同様、多くの生徒及び保護者の皆様が本校の教育活動にご理解・ご協力をいただいていることが推測できます。特に、**保護者の皆様には学校の教育実践の様子について認識が深まっていることに関しましては大変嬉しく思います。**

**学校の教育活動の質を向上させ、子どもたちの資質・能力を効果的に育成するためには保護者の皆様と、地域の皆様との協力なくしては語れません。**今後も、学校は子どもたちのよりよい成長のため、最上位目標である教育目標の実現に向けて尽力します。その実践を保護者・地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、少しずつそして確実に歩を進めていきたいと思っております。



## 【学習について】

	質問項目	R7後期	R7前期	比較
生徒	授業は分かりやすいですか	97%	97%	±0
	課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができますか	93%	92%	+1
	自分で計画を立てて勉強していますか	78%	76%	+2
	授業では、他者と協力して問題解決しようとしていますか	97%	95%	+2
	自分の考えを相手に伝え、考えを深めることができますか	86%	92%	-6
保護者	学校は、分かりやすい授業や学力向上(学習内容の定着)に努めていますか	85%	84%	+1
	お子様は、家庭学習に毎日取り組んでいますか	62%	66%	-4
	お子様は、自分で計画を立てて勉強していますか	64%	62%	+2

前期からの変化を見ると、**自分で学習を計画的に進めることに関しては、若干ではありますが子どもたちと保護者の双方の両方がよい変化を感じていることが確認できます。**一方では、自分の考えを伝えることに関しては、ポイントを下げる結果となりました。

**自分をコントロールする力「自己指導能力」は自己実現に必要な不可欠な資質です。**学校生活や学習、人間関係においてもその場にふさわしい“最適解”を導き出すためには重要なスキルでもあります。ことさら、**学習においては自分の学習を主体的に、調整しながら進めていくためには必須の条件の一つです。**自分の力を信じ、自分を鼓舞し、ときには自分にプレッシャーをかけて奮起させることができる資質を持つことが望まれます。そうすることで、**学習に対して前向きな行動選択ができるのではと考えます。**そのための働きかけを教科担当や担任、学年、学校全体でさらに充実させていきたいと思っております。



## 【将来について】

	質問項目	R7後期	R7前期	比較
生徒	将来の夢や目標を持っていますか。	79%	82%	-3
	自分には、よいところがあると思いますか。	89%	90%	-1
保護者	お子様は、将来の夢や目標を持っていますか。	71%	73%	-2
	学校は、相談や問い合わせに適切に応じてくれますか。	92%	83%	+5

「将来の夢」については話題に事欠きません。世界的に見ても、日本の子どもたちは将来の夢を持っている割合が9カ国の中では最下位の約6割で留まっています。(日本財団「18歳意識調査」第20回 テーマ:「国や社会に対する意識」(9カ国調査)の調査2019)本校の生徒はその調査よりは多くの生徒が夢を持っている割合は高いですが、子どもたちが飛び出していく社会は“ブーカ (VUCA)”と言われ、Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)の頭文字を取った言葉で、将来の予測が困難で変化が激しいことが分かっています。そのような状況下で、自分の目標を持つことが自己実現を成し遂げるための可能性を上昇させるのではないかと考えます。学校生活全体を通して、目標を持つことや計画・準備することの重要性とその価値について、さらには具体的な実践方法等についても子どもたちと一緒に考え、自分なりの方法を構築できるような機会を設定したいと思います。



また、後期のアンケートでは学校への問い合わせに関して、数値として前期より5ポイント上回る評価をいただくことができました。学校として、大変喜ばしい限りです。ありがとうございます。今後も、お子様のよりよい成長に関する気になることや心配なこと、困りごとなど何なりとお声かけいただければと思います。学校は保護者の皆様との協力なくして、子どもたちの成長は望めないと考えています。ぜひ、お気軽にお話をお聞かせください。

## 【生活について】

	質問項目	R7後期	R7前期	比較
生徒	黙働清掃ができていますか	86%	83%	+3
	家庭や地域で、しっかりとあいさつをしていますか	97%	96%	+1
	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	99%	100%	-1
	交通マナーを守って登校できていますか	100%	100%	±0
保護者	学校は、社会のルールや規範意識の育成に努めていますか	90%	88%	+2
	お子様は、家庭であいさつをしていますか	93%	93%	±0
	学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってきますか	79%	73%	+3
	本校生徒の交通マナーはよいですか	77%	76%	+1

今年度より清掃時間を15分とし、自分が担当する場所を感謝を込めて清掃活動を実施しています。前述した自分をコントロールする自己指導能力の育成には欠かせない活動の一つです。今に意識を向けることで、子どもたちの内面においてもよい影響が期待できる黙働清掃を今後も引き続き学校全体で取り組んでいきます。

また、保護者の皆様には、学校の教育活動の様子を知っていただくことが多くなってきたことが数値から読み取ることができます。お子様との学校に関わる話の中で、間接的にも伝わっているのではないのでしょうか。学校は定期・不定期に関わらず多くの情報発信を行っています。その大きな目的は、知っていただくことで保護者・地域の皆様にも子どもたちのよりよい成長のために学校と一緒に役割分担をしたいということです。学校は、学校でしかできない役割を担います。同時に、保護者・地域の皆様にしかできない役割があります。学校の実践をより理解していただくことで、その効果を高められるような保護者・地域の皆様と子どもたちの関わりが図れるのではと考えます。そして、その情報共有の利便性を考えると、本校ホームページによる発信が最初に挙げられます。多くの皆様に閲覧いただいております、2025年12月には6,000,000アクセスを突破し、他校とも引けを取らない注目をいただいております。随時更新をし、その充実を図っておりますので、ぜひ一度ご覧いただければと思います。



保護者の皆様、アンケートのご協力、また、貴重なご意見ありがとうございました。学校では学校評価の結果を踏まえ、それぞれの課題を改善しながら、より良い宇ノ気中学校を創っていきたいと考えております。今後とも、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

## 保護者の皆様からのご意見より

### 交通安全に関すること

- 学校帰りに歩きスマホをしている生徒や買い食いをしている生徒がいます。（複数回答）
- 自転車通学の子がヘルメットをかぶってなかったり、横並びで走行している。（複数回答）

子どもたちのルールやマナーについてのご指摘とご意見、どうもありがとうございます。今回のアンケートのご意見の中で多くいただいたものが登下校時の様子に関するものでした。時には、学校に直接ご連絡いただくこともあります。子どもたちの様子を教えていただくことそれ自体は大変嬉しいことではありながら、ご迷惑・ご心配をかけてしまっていることも事実です。学校は機会を捉えて交通安全や登下校に関して考えたり、ご連絡をいただいた時にはその都度、帰りHRや全校集会を通じて注意喚起、場合によっては個別指導を行っています。安全については命に関わることです。日々の学校生活の中で、安全について考える機会やその啓発の度合いを上げることで、自分で適切な判断ができる資質が育っていくのではと考えます。ぜひ、ご家庭におかれましても今一度、お子様に対し校内外のルールやマナーについてお話をいただければ幸いです。



### 行事に関すること

- 部活動が少なくなるなか、サッカーを頑張ってきたが、壮行会他に参加させてもらえなかったことが残念だった。



ご意見ありがとうございます。かほく市の指導の下、学校部活動の地域展開を確実に進めている中、各学校においてもそれらに関連する行事の見直しを図っているところです。ご指摘のとおり、壮行会に関しても開催の形態や対象となる生徒などの見直しを図っているところです。いずれにしても、子どもたちの頑張りが認められ、頑張ることが正しく、尊いこと、応援することは素晴らしいこと、そして結果を残すことができた仲間から心から賞賛の拍手を送ることができる大人になれるような機会を検討し、改善していくことを考えています。お時間あるときには、ぜひ来校され、子どもたちの凛々しい姿をご覧になっていただければと思います。よろしくお祈りします。

後期保護者アンケートでは、多くの皆様のご回答・ご意見をいただくことができました。ありがとうございました。

繰り返すにはなりますが、学校は保護者・地域の皆様の支えがあってはじめて、その機能を最大限に発揮できます。お気づきのことやご不明なこと、各種ご意見等、私たちの共通の目標である「子どもたちのよりよい成長」が期待できる宇ノ気中学校の発展のために、ご遠慮なさらず教えていただければと思います。今後とも、よろしくお祈りします。

アンケートのご回答でもご好評いただいております宇ノ気中学校のホームページを、この機会にぜひ、ご覧いただければと思います。子どもたちの活動の様子を少しでもお伝えできればと、日々更新を続けております。

右の二次元コードを読み取っていただくと便利です。

かほく市立宇ノ気中学校ホームページ →

